

# 第80回 全国教育美術展 京都市学校賞（教育美術奨励賞）受賞

2020.10.17 美術科

全国教育美術展は、1922（大正11）年に全国図画展として始まって以来、国内で最も伝統のある幼・保・小・中の絵の展覧会です。

『京都市 学校賞』は、部活動で言うところの、「京都市 優勝」と同じで、京都市で入選した作品は、北は北海道、南は沖縄までの全国の作品を一堂に会して、11月中旬に行われる全国審査（東京審査）によって、全国賞が決定し、2月に『全国学校賞』、個人賞の『特選』『入選』が発表されます。地区審査では、京都市の中で、各学年2点のみ（規定として1校1点のみ）、特選が選ばれました。特選、入選者は次の人たちです。入選の人たちは、2月の全国審査発表を、楽しみに待ってください。全国審査員が全国から集まった入選の中から、特選への昇格を決定します。

**コロナの渦の中、京都市立洛北中学校の生徒は、何を感じ、何を表現したのか、そこには胸熱くなる命の詩がありました。**

《特選》 1年



『眠らない街』

2年



『沈黙』

3年



『コロナの中収集してくださりありがとうございます』

《入選》 1年



『夏の輝き』



『御神木』



『こもれび』



『お盆にゃSUSHIだ!!!』



『夏を感じる比叡山と雲』

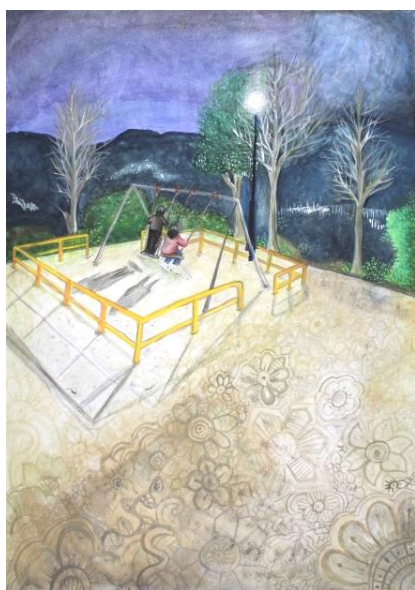
《入選》 2年



『誰もいない通学路～早く学校行きたいよ!～』



『退屈』



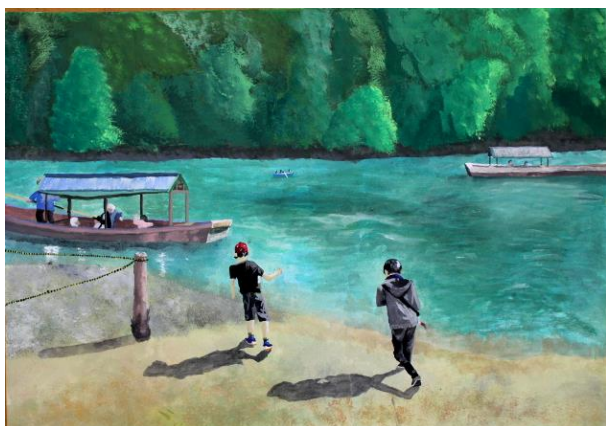
『夜に』



『僕もSTAY HOME』



『坂道』

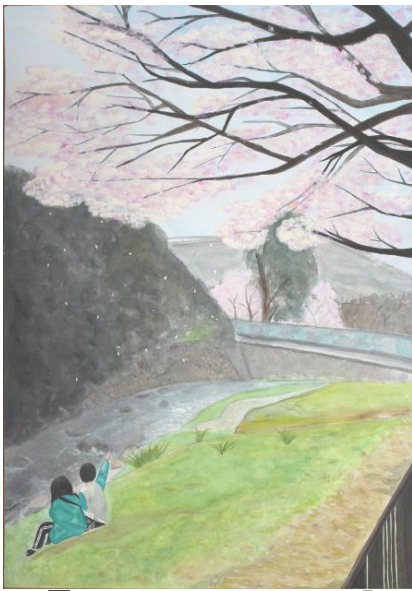


『嵐山の川』



『チューリップ』

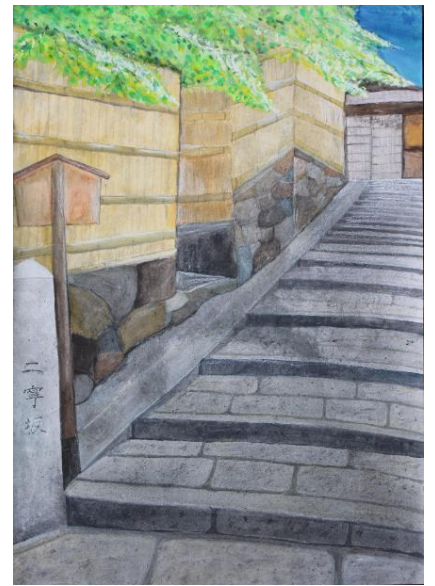
《入選》 3年



『愛しい風景』



『1年前のあの日』



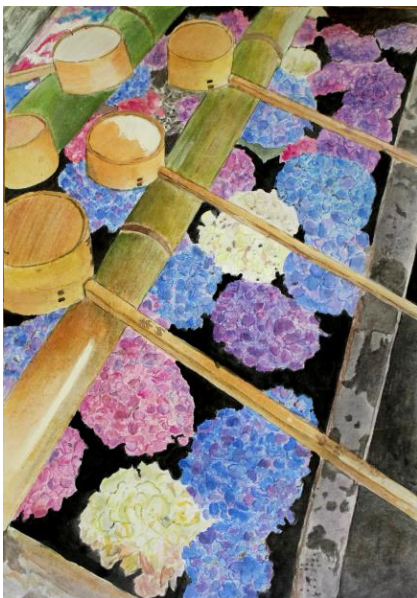
『新緑の二寧坂』



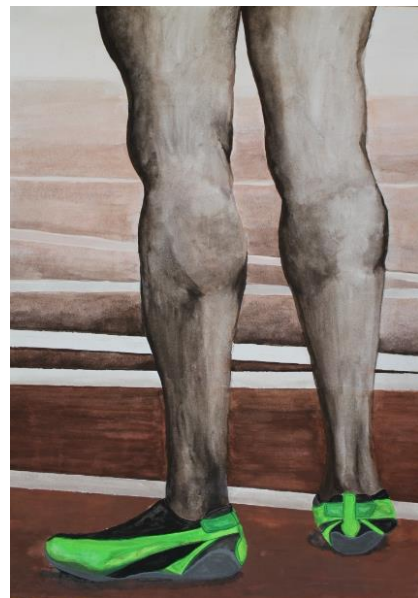
『君がいるだけで』



『試合後の夕日』



『楊谷寺』



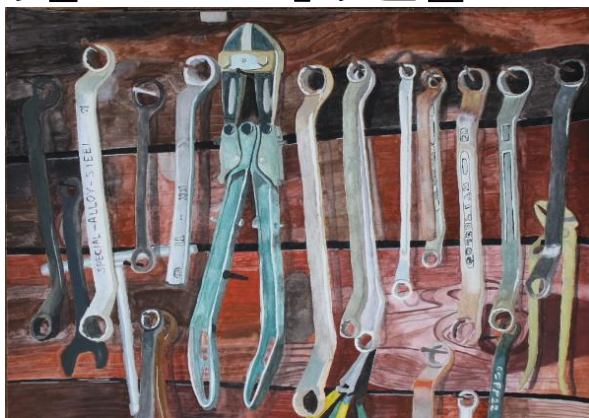
『足』



『春の産寧坂』

姉妹都市  
交歓作品に  
選出

2年  
『職人の壁』



国・地域  
は12月  
以降決定

2年  
『祈り』

